

(評価資料9)

評価項目	9 総括的事項
当センターの状況	<p>(1) 機関設立の意義・目的と業務内容の整合性</p> <p>環境保健研究センターは、整備運営基本計画において、環境保健行政を推進するための科学的・技術的中核機関として位置づけ、保健所との役割分担を明確にし、環境保健に関する①試験検査、監視測定、②調査研究、③研修指導、④普及啓発及び情報提供を行なうものとし、設立された。センターの役割に係る業務の状況は以下のとおり。</p> <p>ア 試験検査、監視測定</p> <p>環境モニタリングや食品検査、感染症・食中毒に関する試験検査・調査を各部で実施しており、平成28年度は、11,731検体、65,840項目について検査を実施した。</p> <p>イ 調査研究</p> <p>いわて県民計画の「岩手の未来をつくる7つの政策」のうち、当センターの役割に関わる「共に生きるいわて」、「安心して、心豊かに暮らせるいわて」及び「環境王国いわて」の3つの政策の実現に寄与する試験研究を行っている。</p> <p>ウ 研修指導</p> <p>保健分野においては、当センターが主体となって、県、市町村等の職員を対象とした専門的、技術的研修指導を実施している。</p> <p>エ 普及啓発及び情報提供</p> <p>普及啓発については、夏休み子ども講座や一般公開といった一般公開行事を開催し、センターの業務や科学に関心をもってもらう取組を行っているほか、施設見学依頼への対応や県民等の講演依頼に対する講師の派遣なども行っている。</p> <p>情報提供については、広報誌「環保研聞録～I-RIEP Journal～」による定期的な情報発信や、環境保健研究トピックによるタイムリーな情報発信を行っている。また、感染症情報センターでは、岩手日報紙上及びホームページに感染症発生動向調査結果の概要を毎週掲載しているほか、メールマガジン「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」の配信など、感染症に関する情報提供サービスの向上に努めている。</p>
評価結果	<p>○ 評価 A：適当（6人）・B：要改善（0人）・C：不適當（0人）</p> <p>○ 評価コメント</p> <p>(1) 機関設立の意義・目的と業務内容の整合性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境・保健行政に関わる各種の検査・監視・研究・指導・情報提供につき適切に実施されている。 ・ 環境保健行政を推進するための科学的・技術的中核機関としてしかるべき役割を果たしていると認める。 ・ 機関設立の意義・目的と業務内容は整合している。 ・ 科学的知見を基に環境・保健行政施策を実施するという、本機関の目的に対し、業務の整合性は十分に取れている。

センターの対応方針	環境・保健行政施策を推進するための科学的・技術的拠点として、今後とも、的確な試験検査、監視測定、調査研究及び情報発信等を行い、「現場・県民の役に立つ」、「県民に支えられる」試験研究機関の実現のために、現場・県民ニーズを的確に反映した研究課題の設定や行政検査の充実強化に必要な人材の育成・確保と体制整備に努めていく。
------------------	---